

第3期志摩市創生総合戦略の取組状況について (令和5年度実績)

1. 総合戦略の概要

「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期志摩市創生総合戦略（以下「第3期総合戦略」という。）」は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、さらなる人口減少対策に取り組むべく、第2期志摩市総合戦略の見直しを行い、令和5年度から令和7年度の3年間に講ずる具体的な施策を定めるものとして令和5年12月に策定した計画です。

第3期総合戦略では、本市の地域ビジョンの実現に向け、「いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる」、「まちの魅力を発信し、人の流れをつくる」、「出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」、「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる」の4つの基本目標を掲げています。地域にあるさまざまな資源を磨き上げて活用することで、地域に人々を呼び込むとともに、若い世代の希望が叶い、安心して暮らし続けられるまちづくりをめざし、取組を進めています。

2. 令和5年度の取組状況（実績）

(1) 4つの基本目標における数値目標及び総合的な目標の達成状況

第3期総合戦略に記載した4つの基本目標の令和5年度の進捗状況については、それぞれの目標値に対する達成度は、すべて「B」となっています。

基本目標	指標	基準値	目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
1 いきいきと働ける、 自慢できるまちをつくる	誘致又は立地した企業数 (累計)	1件 (R4)	6件	2件	B※
2 まちの魅力を発信 し、人の流れをつくる	観光入込客数	3,607千人 (R4)	4,550千人	3,883千人	B
3 出会い・結婚、妊 娠・出産、子育ての希 望を叶える	合計特殊出生率	1.19 (R3)	1.30 (R4)	1.16	B
4 住み慣れた地域で、 安心して暮らし続けら れるまちをつくる	今の場所に住み続けたいと思う 市民の割合	68.2% (R4)	75.0%	69.7%	B

また、これら4つの基本目標を通じた総合的な目標である「社会減の抑制」に係る実績値は、前年（R4）よりも大きく改善する結果となり、達成度は「A」となっています。

	指標	基準値	目標値 (R5)	実績値 (R5)	達成度
総合的な目標	社会減の抑制 (転入数－転出数)	△365人/年 (R4)	△300人/年	△222人/年	A

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】

A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

(2) 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の達成状況

数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の計18項目の指標のうち「A」は約28%となっています。また「B」が一番多く、約56%となっています。

基本目標	A	B	C	D	合計
1 いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる	1	2	1	0	4
2 まちの魅力を発信し、人の流れをつくる	1	2	1	0	4
3 出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える	1	4	0	0	5
4 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる	2	2	1	0	5
合計	5 (27.8%)	10 (55.5%)	3 (16.7%)	0 (0.0%)	18 (100%)

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】
A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満
※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

3. 人口の状況

志摩市人口ビジョンにおいては、地域の現状分析や国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を踏まえつつ、2060年に30,000人程度を確保するという人口の将来展望を示しています。
その実現に向け、自然増減の観点からは「合計特殊出生率の向上」、社会増減の観点から「社会減の抑制」の展望を掲げています。

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
総人口	52,943	52,140	51,200	50,222	49,295	48,370	47,272	46,159	45,114

※1月1日（前年12月31日）時点人口

出典：三重県月別人口調査（住民基本台帳人口）

(1) 合計特殊出生率の向上

国全体において、毎年、過去最少の出生数を記録する状況の中、本市も前年に比べ、令和4年の出生数は減少しています。第3期総合戦略では、合計特殊出生率を段階的に向上させ、令和7年に1.50の水準まで上昇させることを目標としている中、令和4年の本市の合計特殊出生率は前年より微減となっています。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
合計特殊出生率	1.36	1.46	1.46	1.40	1.48	1.19	1.19	1.16
出生数	250人	249人	237人	210人	213人	180人	165人	154人

【参考】R5出生数：127人（三重県月別人口調査）※暦年
出典：三重県の人口動態・みえの健康指標

(2) 社会減の抑制

第3期総合戦略では、令和7年に社会減を△150人／年の水準までに抑えることを目標としていますが、令和5年は、前年に比べ転入者が増加し、転出者が減少したことで、転出超過が改善し、△222人の社会減となっています。

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
転入者数	995	1,068	1,040	1,031	1,080	912	939	1,051	1,150
転出者数	1,456	1,308	1,414	1,391	1,361	1,209	1,316	1,416	1,372
社会増減	△461	△240	△374	△360	△281	△297	△377	△365	△222

出典：三重県月別人口調査

4. 今後の取組の方向性

- 令和6年度は「人口減少・少子化対策の本格化」を重点政策に位置付け、「若者が魅力を感じるしごとの創出」や「U I J ターン・定住の促進」、「ライフステージ（出会い・結婚・妊娠・出産・子育て）に応じた切れ目ない支援」、「『生きる力』を育む教育の充実」など、「社会減対策」と「自然減対策」の両輪で総合的な対策を進めます。
- 社会減の要因となっている若者の転出超過の解消に向けては、就職等のタイミングを迎えた若者が「志摩に戻りたい・住み続けたい」と思えるよう、「しごと」とUターンや移住・定住対策とを関連付けた取組をはじめ、若者の確保に向けたさまざまな取組の強化を図ります。
- 自然減対策においては、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てというライフステージにおいて若者の希望が叶う、安心して暮らし続けられるまちの実現に向けて、国・県の交付金や補助金等の各種制度も活用しながら、少子化対策の取組を進めます。
- 将来にわたって持続可能なまちづくりを進める上で、デジタル技術の活用が地域課題を解決するための鍵となることを踏まえ、産業や防災、教育、福祉など、さまざまな分野において、積極的にデジタル技術の導入・活用を推進します。

令和5年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

■基本目標1

いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる

若い世代がいきいきと働き、地域の資源が磨き上げられ輝きを放つ、魅力あふれる自慢できるまちをつくります。

■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
誘致又は立地した企業数(累計)	目標値	1件	6件	8件	10件
	実績値		2件		
	達成度		B※		

■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
1-①	地域の中で働く若い世代を増加させる	地元企業等との交流会等への協力企業数	目標値	21者	39者	44者	50者
			実績値		30者		
			達成度		C		
1-②	地域の経済基盤となる産業を活性化する	市や県のブランド認定を受けた品数(累計)	目標値	30品	36品	40品	45品
			実績値		33品		
			達成度		B		
1-②	地域の経済基盤となる産業を活性化する	創業支援者件数(累計)	目標値	30件	30件	35件	40件
			実績値		39件		
			達成度		A		

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A:進んだ(100%以上) B:ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C:あまり進まなかった(60%以上80%未満) D:進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

令和5年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

■基本目標2

まちの魅力を発信し、人の流れをつくる

本市の持つ魅力を広く発信することにより、国内外から本市へ新しい人の流れが生まれることをめざします。

■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
観光入込客数	目標値	3,607千人	4,550千人	4,650千人	4,750千人
	実績値		3,883千人		
	達成度		B		

■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
2-①	若い世代を中心とした移住・定住を推進する	制度または相談等を通じて把握した移住者数(累計)	目標値	81人	105人	140人	175人
			実績値		137人		
			達成度		A		
2-①	若い世代を中心とした移住・定住を推進する	企業や大学等と連携して新たに取り組んだ事業数(累計)	目標値	15件	20件	30件	40件
			実績値		19件		
			達成度		B		
2-②	世界から選ばれる持続可能な観光地づくりを推進する	延べ宿泊者数	目標値	1,237千人	1,800千人	1,900千人	2,000千人
			実績値		1,405千人		
			達成度		C		

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A: 進んだ(100%以上) B: ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C: あまり進まなかった(60%以上80%未満) D: 進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

令和5年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

■基本目標3

出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

若い世代の出会い・結婚、妊娠・出産や子育てに関する希望が叶えられるよう、ライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援体制の整備や教育環境の充実を進めます。

■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R3)	令和5年 (R4)	令和6年 (R5)	令和7年 (R6)
合計特殊出生率	目標値	1.19	1.30	1.40	1.50
	実績値		1.16		
	達成度		B		

■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
3-①	ライフステージに応じた支援体制の充実を図る	妊婦歯科健診受診率	目標値	37.3%	30.0%	35.0%	40.0%
			実績値		39.9%		
			達成度		A		
3-①	ライフステージに応じた支援体制の充実を図る	保育所・幼稚園・認定こども園の環境やサービスに満足している保護者の割合	目標値	75.0%	90.0%	90.0%	90.0%
			実績値		83.0%		
			達成度		B		
3-②	子どもが夢や希望を持って成長できる教育環境を整える	自分が住んでいる地域が好きという中学生の割合	目標値	52.5%	80.0%	80.0%	80.0%
			実績値		65.6%		
			達成度		B		
3-②	子どもが夢や希望を持って成長できる教育環境を整える	情報化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	70.5%	78.0%	80.0%	80.0%
			実績値		72.0%		
			達成度		B		

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A: 進んだ(100%以上) B: ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C: あまり進まなかった(60%以上80%未満) D: 進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

令和5年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

■基本目標4

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる

住み慣れた地域で、誰もがつながりあい、健康でいきいきと自分らしく、安心して暮らし続けられる持続可能なまちをめざします。

■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
今の場所に住み続けたいと思う市民の割合	目標値	68.2%	75.0%	77.5%	80.0%
	実績値		69.7%		
	達成度		B		

■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
4-①	誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる	身近に相談できる人や団体がある人の割合	目標値	80.5%	81.0%	83.0%	85.0%
			実績値		82.4%		
			達成度		A		
4-①	誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる	生きがいがあると答えた高齢者の割合	目標値	74.7%	76.0%	78.0%	80.0%
			実績値		75.3%		
			達成度		B		
4-②	いつまでも暮らし続けられるまちをつくる	防災訓練の参加人数	目標値	1,984人	12,000人	13,000人	14,000人
			実績値		8,838人		
			達成度		C		
4-②	いつまでも暮らし続けられるまちをつくる	AI・RPA等を活用して業務改善に取り組んだ件数(累計)	目標値	240件	360件	480件	600件
			実績値		405件		
			達成度		A		

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A: 進んだ(100%以上) B: ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C: あまり進まなかった(60%以上80%未満) D: 進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。